

県央

三条総局

〒955-0092
三条市須頃 2-89

0256(33)0408

FAX(33)3347

味と作法で異文化交流 三条・大島小

エラヒさん(中央)からバングラデシユ流の食べ方を教わる子どもたち。二条市の
大島小



バングラ流カレーに挑戦

三条市代官島の大島小5年生18人が、バングラデシユ流のカレー作りに挑戦し、

本場にならってスパイスを使わずに手で食べ、

地域によって異なる文化

や習慣に理解を深めた。バングラデシユ出身で見附市の会社員モハメッド・ヌルル・エラヒさん(52)と、妻の美砂子さん(69)が3日に講師を務めた。エラヒさんは、教育が受けられない母国の子どもたちのために現地での学校建設に尽力し、長岡市米百俵財団の「米百俵賞」を受けた。大島小の佐藤義朗校長

(56)が旧知の間柄で、学校建設の取り組みにも関わってきたことが縁になった。子どもたちは、ガラムマサラやシナモンなどのスパイスをたっぷりと使ってカレーを作った。食べ方についてエラヒさんから「指でご飯と混ぜて丸めて」と説明され、インディカ米と自分たちで育てた「新之助」に絡めて味わった。慣れない

い食べ方に戸惑いながらも「おいしい」と歓声を上げていた。

佐藤経子さん(10)は「普段のカレーと違ってスパイスだけどくせになる。手で食べるとすごくおいしい」と話した。

エラヒさんは「子どもたちは手で食べるバングラデシユの文化を受け入れてくれた」と笑顔だった。

バンガラデシュのカレー作り

三条大島小5年生 エラヒさん夫婦を講師に

民族衣装で登場して

バンガラデシュの現状を話し

『愛こそすべて』と励ます

三条市大島小学校(佐藤義明校長)の5年生18人は3日、バンガラデシュ出身の会社員モハマド・ヌル・エラヒさん(53)、美奈子さん(56)夫妻を講師として学校に迎え、同国の「国民食」ともいえるカレーライスを作って食べた。

食を考える総合学習の一助に企画した。年にコンピュターなどを絡め、世界を知り、エラヒさんは平成元技術者として来日。



バンガラデシュの環境などを語るエラヒさん夫婦

国際理解教育に力を注ぐため基金を設立し、企画は佐藤校長とは長年の業などをまわって6日、現況を説明。友人だ。「昔さんは日本に生

経済的に豊かでないしは中學校を開設。頑張る。感謝の心

功績から長岡市の「一米百價」を受けている。長い丈の民族衣装「シェルワニ」姿で登場したエラヒさんは、

貧困や労働のために学校に通えない子が大半に達しないかが大勢

「昨年には小学校を開設。頑張る。感謝の心



エラヒさんから手食を習う5年生たち



スパイスのきいたカレーを作る5年生たち

調理したカレーの具。この誇りをもとに「愛こそすべて」と励ました。

調理したカレーの具。この誇りをもとに「愛こそすべて」と励ました。バンガラデシュはイリチャーハンみた

は「自分の手は一番信多昭吾君は「死んだお金をバンガラデシュの人に送り、我が学校を建ててもらいたい」と



カレーライスが完成